

竹林の風

～すべては学校のため すべては子どもたちのため～

栃木県教育委員会事務局
河内教育事務所
令和5年10月11日
発行責任者 西村和孝
http://www.pref.tochigi.lg.jp/m51/
kawachi-kyouiku@pref.tochigi.lg.jp

第70号



令和5年度河内地区小・中学校代替学校職員等研修会

7月26日(水)、8月8日(火)の2日間にわたって、総勢約300名を対象に、河内地区小・中学校代替学校職員等研修会をオンラインで開催いたしました。昨年度は、「教育公務員としての自覚や責任感の高揚」を目的に「服務規律の保持」について考えていただく内容でしたが、今年度は「児童・生徒指導の充実」を目的に、「自己指導能力」や「児童生徒理解」、「SOSを出す力」などをキーワードにした講話を行いました。

今回の研修では、河内教育事務所としては新しい試みとなる、「受講者への事前アンケート」を実施しました。そこで、本稿では、その「事前アンケート」の様子と「研修後の振り返り」を御紹介します。

私からは、開会の挨拶で、子どもが指導を受け入れるための大切な要素や、本県の求める教師像などについて話しました。



事前アンケートの実施

受講される先生方に、任意回答形式で事前アンケートを行いました。方法は、少しでも先生方の負担軽減につながればと考え、Web上での回答としました。内容は、「日々の児童生徒指導上で、頑張っていること、困っていること等」で、御回答いただいたアンケート結果を講話に反映しました。特に困っていることに関しては、一部にはなりますが、対応する上でのポイントや基本的な考え方などを講話の最後にお伝えしました。

さて、回答の状況ですが、受講された先生方が、積極的に児童生徒とコミュニケーションをとりながら信頼関係の構築や自尊感情の醸成等に御尽力いただいていること、一方で、期待される変容・成長が児童生徒になかなか見られないことに戸惑っていたり、実際の指導場面での言葉かけに難しさを感じていたりすることなどが伝わってきました。以下に、その一例を紹介いたします。

- ・児童一人一人が一年間でどんなことでもよいので、自信をもって取り組めるものを増やしていけたらいいと思っています。その為に、児童の個性に合わせた声かけや、自尊心が高まるような声かけをするように心がけています。
- ・担任と連携をしながら指導・支援していますが一進一退です。現在の対応がいい手立てなのか分かりません。
- ・たくさんの児童に声をかけ、話をするようにしています。コミュニケーションはとれていると感じますが、改善してほしい行動や言動などを伝えるときは難しさを感じます。

研修後の振り返り

研修後の振り返りでは、「報・連・相をしっかりと行いたい。」といった言葉が多数見られました。報・連・相は、「風通しのよい職場づくり」や「組織的対応」のためにも、その徹底が求められるところです。ぜひ、皆さんでの共通実践をお願いします。

・教師間も困った時や迷った時に話がしやすい環境づくり・人間関係づくりに努力していきたいです。どんな時も、小さなことも「報告・連絡・相談」し、児童や保護者が安心して生活できるように支援していきたいと思います。

・日頃から教師間で情報を共有し、安定した穏やかな姿勢でいることが生徒にとって一番良い状態だと考えられるため、この様な態度で接していけるよう取り組んでいきたいと思っています。

教職員一人一人の誇りと品格は教育への信頼を確たるものにする

ふれあい学習課

「推し」

ここが魅力だ！

令和5年度のふれあい学習課

ふれあい学習課は、人権教育や家庭教育をはじめ、様々な学習活動を推進しています。学校や家庭、地域の未来のため、『人をつなぎ、学びを提供し、みんなのウェルビーイング』を目指すべく、業務に励んでいます！そんなスローガンで日々取り組んでいるふれあい学習課を紹介します。

学校、家庭、地域社会が連携・協力し、子どもの「生きる力」を育みながら、家庭と地域の教育力の向上を目指して行く、子ども同士、大人同士、子どもと大人、そして幅広い年代の人々との交流活動や体験活動、学習活動のことです。だから、学校と地域の連携や、大人の学び「現職教育」なども行っていますね！

そもそも「ふれあい学習」って？

「推し1」 県立学校における学校と地域の連携・協働の推進

県内でここしか実施していない取組。推進委員による会議(4回)、県立学校地域連携教員研修、各校への支援訪問等で管内の地域連携・協働活動の充実を図っています。



「推し2」 幅広い学びの提供！それいけふれあい学習応援隊！！

学校と地域との熟議(学校運営協議会・地域協議会、PTA講演会)、保護者と教職員の語り合う場、外国人、性的マイノリティの人権、家庭教育など、様々な出前講座が可能です。



「推し3」 みんなのウェルビーイング獲得に奮闘するふれあい学習課職員

課長：石塚 秀幸

課の総括業務を行う。管内の学校と地域の連携・協働に関する出前講座等を担当する。

【特技】大好きなラーメンの話とゴルフを通じて、人をつなぎを作る。



副主幹：田中 久之

管内のふれあい学習推進や家庭教育支援に関する活動を、自身の豊富な経験に基づいて取り組む。

【特技】魚釣りで培った『生物の心を読みとる力』を応用し、発言したい方から意見を聞き出すこと。



社会教育主事：関 直哉

人権教育や子どもの読書活動の推進を中心に、豊かな学びを提供する。

【特技】その眼光の鋭さからは想像できないソフトな語り口で、皆さんの気付きを引き出すファシリテーション。

